

ときわの風

WIND OF TOKIWA

E-mail dosokai@tokiwa.ac.jp

URL http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai/

常磐大学
OBトークショー
開催!

プロ野球界の2投手が語る 夢を実現するために。

二〇〇六年十二月二〇日に、キャリアデザイン講座3・常磐大学OBトークショーが開催されました。このトークショーは学生のキャリア支援の一環として、常磐大学が主催しました。ゲストとしてお招きしたのは、西武ライオンズに所属する小野寺力投手と阪神タイガースに所属する久保田智之投手。ともに常磐大学野球部OBで、いま注目のプロ野球選手です。

トークショーのテーマは、「夢を実現するために『私と野球』」プロとしての心構え。会場となった常磐大学H棟には、一般の来場者や学生たち約四〇〇人が詰めかけ、両選手の人気の高さを示していました。

トークショーに先立ち、高木勇夫学長が挨拶。「こういう卒業生がいる



ことを、大変誇りに思っている」としたうえで、「お二人の活躍をお手本にして、自分のキャリアをデザインしてほしい」と、会場の学生たちにエールを送りました。

小野寺投手と久保田投手は、常磐大学野球部の同期生。学生時代には先発の両輪として、野球部を牽引してきた実績を持っています。ともに二〇〇二年のドラフト会議で指名され、現在は両選手ともクローザーを担当。抑えの切り札として、チームの勝利に貢献しています。

久保田投手が「野球を始めた小学三年生のころから投手をやりたいかったが、高校時代は主に捕手。大学に入って、やっと投手に専念できた」と語るように、大学時代から両選手はピッチャーという同じポジションで競い合うライバル。「しかし、野球に関わらず社会に出てからも、近くにライバルがいることは、とても良いこと。自分が伸びるのには最高の環境だった」と、小野寺投手は大学時代を振り返っていました。

そして、両選手ともプロ野球の世界に入り二〇〇七年で五年目を迎えます。しかし、ここまでの道程は決して順風満帆ではありませんでした。

小野寺投手は「プロに入って一年目に左膝を骨折。肩の故障もあって二年間くらい野球ができなかった。しかし、辛いときは周りが見えてくる。そして、周りの力が支えになる。調子が悪いときは自分を見詰め直し、改めるチャンスでもある」と、怪我から復帰した経緯を語りました。また久保



田投手も、昨シーズンは右手を骨折。「投げられるまでに二カ月かかったが、迷惑をかけてしまったという思いで一杯だった。ただ、一軍のベンチを離れても、応援してくれるファンの方たちがいる。その声を支えられて頑張ることができた」と、当時の心境を話していました。

久保田投手が「大学時代とは違って、仕事として野球をやっている」と語るように、プロとしての責任は大きいもの。一年一年が勝負のプロ野球選手にとって、両選手とも、今シーズンが正念場です。昨シーズン怪我をした久保田投手は、「とにかく、限界まで頑張るのみ。もし、先発として起用されれば、沢村賞を狙うつもりで投げたい」と今シーズンの自信を覗かせ、小野寺投手は「昨シーズンは二十九セーブだったので、三〇セーブ挙げるのが目標。そして、チームがタイトルを獲得しよう頑張りたい」と力強く語りました。



「まず努力するんですよ」

トークショーのテーマ『夢を実現するために』に対するメッセージとして、小野寺投手は「夢を実現させるためには、まず、それに向かって努力すること。叶うかどうかは、やってみなければ分からない。自分も大学の四年間、夢に向かって頑張ってきたし、今でも一生懸命にやっていると胸を張って言うことができる」と後輩たちに檄を飛ばし、久保田投手は「辛いことがあっても、夢があれば頑張れる。続けていけば、いずれ結果は出るもの。ただ、社会は思っている以上に厳しい所なので、マナーや感謝の気持ちが大切だということを、覚えていてほしい」とアドバイスしていました。



また、トークショー終了後の質疑応答の際には、タレントの萩本欽一さん率いる『茨城ゴールデンゴールズ』に入団が決まった、常磐大学野球部・齋藤由以さんが紹介され、両選手から激励の言葉を受けました。

軽妙な小野寺投手と、クールな久保田投手。二人のトークはまさに好対照で、会場に訪れた人たちも十分楽しんだ様子です。トークショー終了後に行われたサイン会にも長蛇の列ができ、トークショーの成功を物語っていました。

阪神タイガース

久保田 智之さん

くぼた ともゆき ● 埼玉県立滑川高校を経て常磐大学に入学。2003年、阪神タイガースに入団、背番号30。右投げ右打ちのピッチャーで、150キロ台のストレートと切れ味抜群のスライダーが武器。

TOMOYUKI KUBOTA



2006年度 体育会活動報告(春季)

硬式野球部

部長：千葉 一敦
監督：石川 清
部員数：五十六名

○関甲新学生野球春季リーグ
(三部中一部)
常磐大学 12-2 作新学院大学
(コールド勝ち)
常磐大学 10-0 作新学院大学
(コールド勝ち)

常磐大学 2-11 白鷲大学
常磐大学 1-11 白鷲大学
常磐大学 0-6 上武大学
常磐大学 0-2 上武大学
常磐大学 3-4 山梨学院大学
常磐大学 0-2 山梨学院大学
常磐大学 12-10 平成国際大学
常磐大学 3-15 平成国際大学

剣道部

部長：小澤 聡
部員数：男子十六名・女子十二名

常磐大学 4-12 平成国際大学
一部三勝八敗 一部残留

○男子
第五十二回
関東学生剣道選手権大会
三回戦敗退
○女子
第三十八回
関東女子学生剣道選手権大会
三回戦敗退
上記一部以外にも体育会各部活動しております。今後ご期待ください。

MESSAGE

「思い出のびきは同窓会で」

同窓会の皆様、ご無沙汰しております。人間科学部の岩田です。皆様におかれましてはご健勝にお過ごしのことと拝察し、お慶び申し上げます。

同窓会の皆様は、常磐大学を懐かしい学びの杜としておにふれて思い起こされること存じます。私自身にとりまして、常磐大学は教員としての学びの場であるばかりでなく、いちばん輝かしい青春時代のすべての思い出がそこから始まったという感慨を禁じ得ない心のふるさととなりました。

私は昭和五十六年四月に当時の常磐学園短期大学教養学科で「マス・コミュニケーション」と「政治学」を担当する非常勤講師として、生まれて初めて教壇に立ちました。突き抜けるような明るい空の色、ポツカリ浮かんだ小さな白い雲、

透明な空気、そして暖かい陽光の光に包まれた、まるで時間が停止して風景の一部に溶け込んでしまったかのような赤塚の駅に降り立つと、迎えに来てくださっていた木村二三さんが運転する常磐学園の乗用車でキャンパスに至る住宅街を本当に穏やかなゆつたりとしたハンドルさばきで滑るように走り抜けました。

体育館と向かい合わせのD棟の一階の入り口近くの右側が教員控室で、左側にはコピー機とおいしいチキンカレーのカフェテリアがありました。D棟の控室の北向きの窓越しには、現在のE棟のあたりで色とりどりのレオタードに身を包んだ短大生がダンスの授業に汗を流している姿や、体育館の北側にあったプールから水着のままB棟へ駆け抜けていく姿がまぶしくかやっています。

いつのころだったのでしょうか。気が

学生支援事業報告

2006年ときわ祭開催 Re-born



第24回ときわ祭が2006年10月28日、29日に開催されました。同窓会では学生支援事業として毎年5万円の資金援助をしています。今回のテーマは「Re-born ～つなぐ・むすぶ・キズナ～」。

生まれ変わったときわ祭に訪れた方の絆と絆を結びつけ新たな絆を築いて欲しいという願いが込められているそうです。アンダーグラフを招いた「アンダーグラフ concert '06 in TOKIWA」や「照英講演会」「仮面ライダーカブトショー」はもちろんのこと、ゼミナールの研究発表、模擬店などにたくさんの人が集まり、2日間で5,352名が訪れる盛況ぶりでした。特に盛況だったのは、野外ステージでの学生の日頃の練習の披露を兼ねたダンスバトル(HipHop、House、ブレイクダンスなど)。野外ステージ前がたくさんの人で溢れ、学生に大きな拍手を送っていました。



がいつかときにはすでにA棟一階の東端に四年制の常磐大学を開設するための準備室があり、若々溢れる諸澤英道教授(現理事長)と一心同体のようにひとときも休みなく活躍される国見太さん(現学生支援センター統括)、そして濡れ濡れとした豊かな黒髪を聡明そうな広いきれいな額に揺らめかせた柄澤行雄専任講師(現副学長)が、新しい時代のあるべき大学の姿について「何が問題かが問題だ」と熱弁をふるわれていた姿が思い出されます。

やがてレオタード姿と入れ替わりにE棟がたちあがり、深い木立を割ってF棟が姿を見せ始め、私は壁も手すりもない階段をこわごわ登らせてもらいました。今は別の意味でこわごわ階段を登る身の上となりましたが、気持ち少しも変わっていません。学生委員の時に、学生部長を長くつとめられた齋藤幸一郎先生のお供をしてときわ祭の「夜回り」をしたことがありますが、そのとき先生が口癖のように「歳をとったらどんなものかと思っていたが少年の頃と気持ちは少しも変わらないよ」と話されていた言葉が今では自身の目標となりました。

卒業生の皆様へ何かメッセージをと思ったのですが、皆様と過ごした日々を思い出そうとすると尽きることがありません。深くあきらめたいです。思い出のびきは同窓会でお会いするときにまで持ち越しとさせていただきます。

その日まで、ご健勝にお過ごしください。



人間科学研究科 人間科学部 教授
コミュニケーション学科主任
岩田 温 先生
慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程単位取得満期退学。
学位：法学修士。専門：コミュニケーション学、社会情報政策学。

編集後記

常磐大学を卒業してからもうすぐ5年になる。あつという間のようだったが、大学の姿も変わり続け、季節が5回巡ったことを感じさせる。私も負けじと変わり続け、若白髪を倍に増やし、椎間板ヘルニアにもなりました。ひとえに努力の賜物だと自負している。

かつてこの大学で、一緒に遊び、汗を流した友人は元気にしているのだろうか。人間科学部16期卒の同窓会総会・懇親会の出席率はそれほど高くはないが、そろそろ参加して顔でも見せたらどうだろう。若白髪が増え、腰を痛めた私が待っている。(池)

最近1年間で、同窓会事務局が把握している情報を掲載しています。みなさまの情報提供をお待ちしています。

■ ご結婚された方

岩間 健一郎さん
「国際学部4期」
岩間 千春さん
(旧姓 椎名)
「国際学部4期」

■ おくやみ

上見 幸司 様(享年58歳)
「人間科学部教授」
多大なご功績に対し、常磐大学名誉教授の称号が授与されました。

石坂 巖 様
(享年85歳)
「元人間科学部教授」

澤本 守幸 様
(享年80歳)
「元国際学部教授」

卒業生へのお知らせ

証明書発行 申し込み方法について

- 卒業後の証明書発行のお申し込み方法は、「窓口」または「郵送」によるものに限ります。(電話・FAX・E-mailによる申し込みはできません。)
- 【窓口申し込みの場合】**
申請窓口：学生支援センター (T棟 地下1階)
発行手数料：和文1通 300円
必要なもの：① 身分を証明できるもの (運転免許証、パスポートなど) ② 印鑑
* 窓口申し込みの場合は、即日発行致します。(30分程度の待ち時間が必要です) ③ 証明書料金：手数料分の切手を同封してください。(発行手数料：和文1通300円) ④ 返信用封筒：宛先を明記し、切手を貼付したものです。証明書の封筒は、長3封筒の大きさになりますので、それより大きいサイズ(角3封筒・角2封筒)の封筒をご用意下さい。返信用切手についての目安は、証明書1~2通で120円です。速達希望の場合は、270円を追加してください。
- 【郵送申し込みの場合】**
郵送の場合は、次のものを封書にてお送り下さい。郵送は国内に限ります。
① 本人の身分を証明できるものの写し

送付先/問い合わせ先 〒310-8585 水戸市見和1-430-1 常磐大学 学生支援センター TEL 029-232-2528/2814